



Weekly Report

山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620
Yamanashi Chuo Rotary Club 2016-2017

会 長	石原 満彦	副会長	田中 雅貴
幹 事	竹野 満	副幹事	田中 雅承
会 計	小池 章治	会 報	田中 雅承

事務所 〒409-3812
山梨県中央市乙黒 158-2 (山梨ビジネスパーク(株) カルク内)
TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>
FAX 055-273-8010 E-mail rotary@yamachuo-rc.net

2016~2017 RI 会長 ジョンF.ジャーム
第2620地区 ガバナー 生子 哲男
【例会日】毎週金曜日 12:30~13:30
【例会場】(株)カルク (055-273-5344)

2016年 11月 18日 第1745回例会

本日のプログラム

会員卓話 竹野 満会員

会長挨拶

「ムヒカ大統領のスピーチ」

会長 石原 満彦

皆さんこんにちは。本当に一週間経つのが早すぎて、毎週の例会の会長挨拶を考えている余裕がなくなって毎日テンパっている今日この頃です。

先週から秋を通り越して冬の季節が始まったような寒い日が続いています。くれぐれもインフルエンザには気を付けていただきたいと思います。今年は例年に比べて早くから流行しているようで、もうすでに各地でインフルエンザの感染者が出ているようです。

今週は渋谷のハロウィンイベントに始まりフィリピン大統領やミャンマーのアウンサン・スーチーさんらが来日、それといよいよ来週アメリカで大統領選の投票日が11月8日に行われ、イベントが目白押しであります。

そんな中、先週NHKスペシャルで3回に渡り爆笑問題の司会でマネーワールド「資本主義の未来」について検証していくというNHKの番組をやっていました。1回目が『世界の成長は続くのか?』2回目が『国家VS超巨大企業』

3回目が『巨大格差その果てに』というテーマでやっていたわけですが、その中に出演していた「世界で最も貧乏な大統領」と言われている南米ウルグアイという人口300万人の小さな国のムヒカ大統領がたまたまテレビに出演していました。それで私は2、3年前からこの大統領の存在を、インターネットを介して知っていました。

そこで今日は、私が特に衝撃を受けたというか非常に考えさせられました、ムヒカ大統領が2012年の地球サミットで語ったスピーチを、長文ではありますがノンカットで代読してみたいと思います。ちなみに、日本ではほとんどのTVや新聞で今から読み上げるスピーチをとりあげていないそうです。

最後にこのスピーチを聞いて、改めて人類の発展とは、幸福とは、運命とは、等について考えさせられたと同時に、一体この世界はどこに向かっているのかが非常に気になるころであります。

物を大切に、資源を大切に、と言いながら、次々と新しいものを作り、売らなければなり立たない経済社会。失われていく環境、資源。増えていく支払い、ローン、労働時間。

根本的に世界のシステムを、考えなおす時期にさしかかっているのではないのでしょうか。

幹事報告

幹事 竹野 満

1. 第2620地区生子ガバナー事務所より「ガバナー月信No.5」と、ロータリーの友事務所より「ロータリーの友11月号」が届いておりますので、配布致しました。

2. 11月例会の「特別休会」をお知らせ致します。

11月25日の例会は地区大会の屋台村・物産展等の下準備のため事業参加とし、「振替休会」と致します。

3. 国際ロータリー日本財務室より11月のロータリーレートのお知らせが届いています。11月はロータリーレート1ドル102円との事です。

4. 例会変更のお知らせ

☆甲斐ロータリークラブ☆

11月21日(月)の例会は「地区大会参加例会」の為 日時・会場の変更

日程：11月20日(日)

点 鐘：午前9時30分

会 場：「クラシフィック静岡」

11月28日(月)は「特別休会」

☆甲府シティロータリークラブ☆

11月30日(水)は「特別休会」

☆甲府南ロータリークラブ☆

11月29日(火)は「特別休会」

☆南アルプスロータリークラブ☆

11月23日(水)は「特別休会」

前回の例会記録

第1744回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	10名	1名	90%	3名	100%

届出欠席者 小池 章治君

届出失念者 なし

出席免除者 なし

メイクアップ 鮎川 一明君 原田 哲君

小池 章治君

ビジター なし

備考 なし

ニコニコBOX

● 前回休みました。 原田 哲

● 所用のため前回欠席しました。 遠藤 一郎

★ 職業奉仕卓話 ★

「恩がえし(4)」

比嘉 昇先生

だが毎日のようにスタッフと子どもたちとの有形無形の葛藤・格闘があるだけでなく、子どもたちが帰宅した後、夕刻から始まる「スタッフ会議」では五人それぞれの、いわば全人生を賭けての子どもたちを育てる「丁丁発止」の火花が散る。そんな中から、この春には二人の大学生が誕生するところまで歩みを進めてくることができた。

このような苦悩とは逆の、いわゆる「非行」と呼ばれる子どもたちにより、正常な学校生活ができない「荒れる」中学校で、教職最後の三年間暮らしたことがあった。赴任する前年、対教師暴力によって生徒が六人逮捕される事件が起こり、校長が退職。その後任として勤務したのである。まさに学校崩壊であった。

「急がば回れ」である。逆境の闇を幾つも潜り抜けてきた私には「明けない夜はない」という楽観主義が心のどこかにある。毎週一回の校長通信の発行。「ケンカの仕方教えます」のタイトルの出前授業。クラブ活動の試合があればどこへでも出向いて声を大にしての応援。保護者の方たちと毎朝、校門に立って子どもたちへ「おはよう」の挨拶。できることは何でもやった。やがてヤンチャ坊主たちが校長室へやってくるようになった。

その中の一人が翼だった。その年の二百人を超す卒業生の中でたった一人だけ就職する彼の激励会を校長室で開いた。彼の苦難な前途と、かつての自分の過去が重なった。(続く)

次回のプログラム 12月2日(金)

米山奨学生卓話 略 予情さん